

OPPO が HEVC Advance 特許プールに参加

ボストンおよび深圳 – (2020 年 12 月 10 日) – 独立系ライセンスアドミニストレーターの Access Advance は本日、スマートデバイス業界をリードするブランド OPPO が HEVC Advance 特許プールのライセンシーになったことを発表しました。OPPO は、HEVC/H.265 ビデオコーデック規格を実施するために必要とする特許を、世界範囲で 13,000 件 (現在も増加中) 以上に利用することが可能となります。

「OPPO が HEVC Advance プログラムに参加することは重要なエンドースメントであり、私たちは OPPO を迎えることに胸を躍らせています」と Access Advance の CEO、Peter Moller は述べています。「複数の世界的ベストセラー製品とブランドを有するリーディングスマートデバイス企業、OPPO が、研究、イノベーション、知的財産に投資を行うことは、次世代ビデオコーデックである VVC を含む、通信およびメディア業界における数多くの次世代規格の開発に重要な貢献をすることになります。私たちは OPPO による HEVC プログラムへの参加に加え、当社 VVC プログラムへのサポートにも期待を寄せています」。

OPPO の知的財産権担当シニアディレクターの Ying Feng は次のように述べています。「HEVC Advance は、ライセンシーとライセンサー両者の利益バランスに尽力し、FRAND 原則を真剣に受け止める協調的な特許プラットフォームです。OPPO は HEVC Advance 特許プールに参加したことをとても嬉しく思っており、世界のパートナーと共に産業の健全な発展を推進していくことを楽しみにしています。」

OPPO について:

OPPO は、世界をリードするスマートデバイスブランドです。2008 年に最初のフィーチャーフォン「A103 Smiley Face」を発表以来、OPPO は美的満足度と革新的技術の相乗効果の実現に取り組んできました。現在 OPPO は、OPPO Cloud や OPPO+などのインターネットサービスに加え、Find シリーズや Reno シリーズを中心とした多様なスマートフォンや IoT 機器、ColorOS を提供しています。OPPO は、40 以上の国と地域で事業を展開し、世界で 6 箇所の研究機関と 4 箇所の R&D センタ



一、ロンドンに国際デザインセンターを構えており、世界中のお客様のより良い生活を実現することに日々取り組んでいます。

Access Advance について:

Access Advance LLC (旧社名: HEVC Advance LLC) は、最も重要な規格に基づく映像コーデック技術の必須特許のライセンス供与を目的として、特許プールの開発、運営、管理を推進するために設立された、独立ライセンスアドミニストレーターです。Access Advance は、特許権者および特許実施者の両方に透明性のある効率の高いライセンスメカニズムを提供しています。Access Advance は現在、H.265/HEVC 技術に必要な不可欠な特許をライセンス供与するために HEVC Advance 特許プールを管理、運営しており、また、VVC/H.266 技術に必要な不可欠な特許のライセンス供与のために自社の VVC Advance 特許プールを現在開発中です。Access Advance または HEVC Advance 特許プールについての詳細は、www.accessadvance.com をご覧ください。現在開発中の VVC Advance 特許プールについての詳細は、ビジネス開発部シニアバイスプレジデント、Paul Bawel (Paul.Bawel@accessadvance.com) までお問い合わせください。